e-Learning

現任研修　振り返り・評価シート（科目別）

講義動画視聴終了日　　　　年　　　月　　　　日

私は本講義動画を視聴いたしました。受講番号：　　　　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義１】(テキストページ　２２～５４頁)  障害者総合支援法及び児童福祉法等の現状 | 講師名 | 大平　眞太郎 |

　本シートは、現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

　［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

　 ［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。

　　　　　　 ② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 障害福祉制度の経緯について振り返り、令和4年の法律改正の概要について理解する |  |  |  |
| 令和3年度障害福祉サービス等報酬改定の内容について理解する |  |  |  |
| 障害福祉計画及び障害児福祉計画の経緯と動向について理解する |  |  |  |
| 地域生活支援拠点等の位置付けと機能について理解する |  |  |  |
| 障害者支援における権利擁護と虐待防止に関わる法律等の内容について理解する |  |  |  |
| その他関連制度の状況について理解する  ・介護保険制度との関係性  ・生活困窮者自立支援制度  ・地域共生社会の構築に向けた取り組み |  |  |  |

　　　　10　　　９　　　８　　　７　　　６　　　５　　　４　　　３　　　２　　　１

　　　←理解度が高い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　理解度が低い　→

e-Learning

現任研修　振り返り・評価シート（科目別）

講義動画視聴終了日　　　　年　　　月　　　　日

私は本講義動画を視聴いたしました。受講番号：　　　　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義２－１】(テキストページ　５６～８３頁)  本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法　第１節　意思決定支援に着目した個別相談支援 | 講師名 | 彼谷　哲志 |

　本シートは、現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

　［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

　 ［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。

　　　　　　 ② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 個別相談支援の基本姿勢等を理解し、相談支援の実務において、これらを常に意識した実践ができる |  |  |  |
| 相談支援のプロセスにおける、インテークやアセスメント、モニタリング等の役割や機能、留意点を理解し、実践することができる |  |  |  |
| 相談支援における、意思決定支援のポイントを理解し、実践できる |  |  |  |

　　　　10　　　９　　　８　　　７　　　６　　　５　　　４　　　３　　　２　　　１

　←できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　できない→

e-Learning

現任研修　振り返り・評価シート（科目別）

講義動画視聴終了日　　　　年　　　月　　　　日

私は本講義動画を視聴いたしました。受講番号：　　　　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義２－２】(テキストページ　８４～108頁)  本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法　第２節　多職種連携及びチームアプローチ | 講師名 | 鈴木　智敦 |

　本シートは、現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

　［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

　 ［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。

　　　　　　 ② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 多職種連携・チームアプローチの意義や目的・方法を理解し、他のひとに伝えることができる |  |  |  |
| ケアマネジメントプロセスの各場面における多職種連携・チームアプローチを理解し、実践することができる |  |  |  |
| 事業所・組織・多機関・地域それぞれに応じた多職種連携・チームアプローチを理解し関係作りをするとともに、本人の意思を尊重したチームによる意思決定支援ができる |  |  |  |
| 各種会議等において、相談支援専門員の役割と業務を理解し、会議の技術を用いた運営・実践をすることができる |  |  |  |
| 多職種連携・チームアプローチの阻害要因を考え、連携先の立場に立った視点、配慮、解決に向けたアイデアをみつけ、実践に活かすことができる |  |  |  |
| 多職種連携・チームアプローチの重要性を理解し、常日頃の実践から、本人の最善の支援が実践できるように取り組む姿勢を持っている |  |  |  |

　　　　10　　　９　　　８　　　７　　　６　　　５　　　４　　　３　　　２　　　１

　←できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　できない→e-Learning

現任研修　振り返り・評価シート（科目別）

講義動画視聴終了日　　　　年　　　月　　　　日

私は本講義動画を視聴いたしました。受講番号：　　　　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義２－３】(テキストページ　109～124頁)  本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法　　第３節　地域を基盤としたソーシャルワーク | 講師名 | 島村　聡 |

本シートは、現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

　［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| 地域を基盤としたソーシャルワークの意義と機能を理解し、説明できる |  |  |  |
| 個別支援と地域支援の一体的展開に必要な視点、地域課題の抽出に重要な個別支援会議について理解し、実践することができる |  |  |  |
| 地域課題への取り組みに向けた（自立支援）協議会の活用と展開について理解し、実践することができる |  |  |  |
| 地域アセスメントの目的や視点・方法を理解し、実践することができる |  |  |  |
| 地域資源の柔軟な活用、その人に必要なソーシャルサポートネットワークづくりの必要性について理解し、実践できる |  |  |  |

　　　　10　　　９　　　８　　　７　　　６　　　５　　　４　　　３　　　２　　　１

　←できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　できない→e-Learning

現任研修　振り返り・評価シート（科目別）

講義動画視聴終了日　　　　年　　　月　　　　日

私は本講義動画を視聴いたしました。受講番号：　　　　　　　　氏名：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 【講義３】(テキストページ　126～138頁)  実践研究及びスーパービジョンによる人材育成の理論と方法 | 講師名 | 小澤　温 |

　本シートは、現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

　［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

　 ［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。

　　　　　　 ② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
| 受講前 | 受講後 |
| スーパービジョンの定義や機能、特徴（方法）について説明することができる |  |  |  |
| 事例検討とグループスーパービジョンの違いを説明することができる |  |  |  |
| 相談支援専門員にとって、ストレングスモデルにおけるグループスーパービジョンが重要である理由を説明することができる |  |  |  |
| ストレングスモデルにおけるグループスーパービジョンの具体的な方法を理解し、実践の中で取り入れることができる |  |  |  |

　　　　10　　　９　　　８　　　７　　　６　　　５　　　４　　　３　　　２　　　１

　←できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　できない→

e-Learning

現任研修【講義１～３】質問票

受講番号：　　　　　　　　氏名：

講義１～３（e-Learning及びテキスト）の内容に関して疑問点や質問がある場合には、振り返り・評価シートの「気づきや理解した点等」に記載するのではなく、こちらの質問票を使用してください。質問がない場合は空欄のままで構いません。

なお回答については令和５年度群馬県相談支援従事者現任研修の担当講師が行います。e-Learning及びテキストの担当講師に直接確認できるものではなく、内容によっては回答を差し控える場合があることをあらかじめご了承ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 講義名・項目等  （テキストの場合はページ番号も） | 疑問・質問の内容  （できるだけ具体的に） |
|  |  |